

やまぐち

主な内容

- 中原中也記念館50,000人達成
- 6年度上半期財政公表
- 同和対策推進強調旬間

\*\*\* 市民交通災害共済受付中 \*\*\*

毎月15日は、お年寄りの交通安全日  
思いやりみんなですすめる交通安全  
交通事故状況〈10月〉

- 発生件数89 (累計601/前年比+48)
- 死亡者3 (累計10/前年比-1)
- 負傷者94 (累計654/前年比+19)

●発行/山口市役所 〒753 山口市龜山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/山口印刷工業㈱



11/15  
1994年No.1136

口紅や、ほお紅に心も染まる

陶の老人福祉施設日吉台の女性入居者に市内の化粧品会社の美容部員5人が、10月31日、お化粧の出張サービス。お化粧で心がうきうきするなど精神的なりハビリにも効果があるそうです。

会場のホールには見学のお年寄りもたくさん集まって、お化粧を終えたお年寄りが席に帰るとワッと歓声も。「気持ちがいいね」「お嫁さんの時以来かな」など、ちょっぴり恥ずかしがりながらもうれしい表情。若い寮母さんも「いつもと様子が違いますね」とほほえんでいました。

■再生紙(古紙混入率80%)利用の市報です。  
(上段は、平成6年11月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



134,196人  
+1,312人



64,522人  
+631人



69,674人  
+681人



50,197  
+904



福田館長から祝福される小野さん（右）

# 中原中也記念館 入館者50,000人達成

湯田温泉一丁目今年二月オープンした中原中也記念館の入館者が十月二十八日、五万人を突破しました。運よく五万人目となられたのは、阿武町奈古東方の小野克さん（62）。「ちようど五万人目です」と福田百合子館長らに拍手で迎えられ、ピックリ。福田館長から中也の詩集や花束が贈られました。

小野さんは、奈古婦人会のメンバー二十二人と研修会の途中に同館に立ち寄られました。「何事かと思つて、びっくりしました。以前、小学校の教師をしていたので、子供たちと一緒に中也の詩をよく読んでいました。一度は訪れてみたいと思つていましたが、

まさか私が五万人目とは。とてもうれしいです」と喜びを語られました。

同館はオープン以来、好調な入館者が増加し、三月二十日には、一万人目を迎えました。そして、二百十七日目の十月二十八日、ついに五万人を突破。一日平均では、約二百三十人が訪れています。予想の倍以上の早いペースに、福田館長は「多くの方に入館していただき、うれしいことです。中也の人生やひたむきさというものが、人の心を引き付けるのでしょう。熱烈なファンはさることながら、文学とは無縁の方にも、ここで中也の作品にふれ、文学への興味を持ってもらいたいものです」と話しています。

## 特別展示『中也の軌跡』

中原中也記念館では、十一月二十二日から、特別展示「中也の軌跡」を開催します。

この特別展示では、人間中也を育んだ郷里や生家との関わりや、詩人中也に影響を及ぼした先人の文学との関わりを、それぞれ関連資料とともに展示します。

■第一展示 故郷と生家

【手紙をめぐって】…「手紙」や中也ゆかりの品々をもとに、中也と故郷と生家のきずなを

## 中原中也記念館の設計者 宮崎浩さんが 新日本建築家協会（JIA）新人賞を受賞

JIA新人賞は、真摯な努力を続けている才能ある新進建築家に贈られるもので、今年度の同賞に、中原中也記念館を設計された宮崎浩さんが選ばれました。全国から四十八名の応募があり、二点が受賞したものです。

十月十三日の福岡市での表彰式に先立ち、九月二十日、佐内市長を訪れた宮崎さんは、「作品賞ということ、デザインだけでなくすべてを含めて評価されたと思っています。



んでいただけると思います」と受賞報告。

市長も「おかげで山口市の自慢が一つ増えました」とお祝いの言葉を贈りました。

宮崎さんは、開館後もたびたび来館されており、「入館者も一日平均二百人ぐらいと聞いています。来られる方がそれぞれの思いを持っていらっしゃる中也の世界のバックグラウンドづくりが設計の基本方針でした。長く定着してくればいいですね」と記念館の今後に期待されています。

## 名称・愛称が決まりました 『山口市スポーツの森』 『西京スタジアム』

市報9月1日号で募集しました、宮野河原地区に建設中の野球場を中心としたスポーツ施設全体の「名称」と、メイン野球場の「愛称」が決まりました。名称は『山口市スポーツの森』、愛称は『西京スタジアム』。

いずれも審査の結果、応募作品283点（名称141点、愛称142点）の中から最優秀に選ばれたもので、名称の「山口市スポーツの森」は、杉山妙子さん（51・上宇野令）の作品。愛称の「西京スタジアム」は、大田広泰さん（51・大内御堀）、大田浩治さん（33・吉敷）、栗林弘さん（24・仁保下郷）、長谷洋一さん（45・宇部市）の四人の方が応募されたものです。

また、佳作には、寺尾八重子さん（47・宮野下）の名称「涼みの森球場」と、三浦俊彦さん（38・宮野下）の愛称「ビッグサン」が選ばれました。

最優秀作品および佳作の表彰は、来春の竣工記念式典で行う予定です。

平成6年度上半期  
財政公表

教育文化施設の整備など

着実に進む

市の予算が、どのように執行されているか市民の皆さんにお知らせするため、平成6年度上半期(四月一日～九月三十日)の財政状況を公表します。

一般会計

一般会計の予算規模は、当初三百八十四億円でスタートし、その後、四億四千七百餘万円の追加補正を行い、総額三百八十八億四千七百餘万円となっています。

補正の主な内容は、(仮称)林業研修センター整備事業に二億千五百餘万円、市道御堀平井線および由良前須川線の

道路改良事業に二億三百万円などです。

また、九月末現在の一般会計の歳入歳出状況は表のとおりで、収入済率三十五・九%、支出済率三十三・四%となっています。この上半期に実施または着手した事業の主なものは、次のとおりです。

☆教育文化施設の整備  
(仮称)ドゥ・スポーツスタジアム夜間照明設備新設、大

歳小、興進小、宮野中、川西中増改築や湯田公民館建設など。  
☆生活基盤の整備  
生活道路、公園、市営住宅の整備事業、下水道対策、廃棄物の減量対策など。  
☆長寿社会対策、福祉施設整備  
在宅介護支援センター、ホームヘルプサービス事業、デイサービス事業、ショートステイ事業など。  
☆企業誘致、地域開発  
山口テクノパークの企業誘致、鑄銭司団地の整備(南区は分譲開始)など。

一般会計の収支状況(9月末現在)

歳入			歳出		
項目	予算現額(万円)	収入済率(%)	項目	予算現額(万円)	収入済率(%)
市税	1,600,117	50.0	議会費	34,562	47.8
地方譲与税	89,200	25.3	総務費	484,525	39.8
利子割交付金	35,700	73.9	民生費	666,324	35.4
ゴルフ場利用税交付金	6,000	36.5	衛生費	334,574	40.6
自動車取得税交付金	32,900	35.3	労働費	25,556	27.1
地方交付税	513,700	64.3	農林水産費	213,103	16.4
分担金および負担金	51,611	39.2	商工費	121,011	51.2
使用料および手数料	44,851	60.7	土木費	683,993	11.7
国庫支出金	413,066	21.8	消防費	96,475	55.2
県支出金	217,241	8.1	教育費	799,456	31.9
財産収入	29,303	45.5	災害復旧費	41,597	15.9
寄付金	3,171	20.7	公債費	391,148	51.3
繰入金	126,486	0.0	諸支出金	30,000	100.0
市債	589,240	0.0	予備費	5,728	0.0
その他	175,466	27.2			
合計	3,928,052	35.9	合計	3,928,052	33.4

(注) 歳入歳出予算現額は、繰越額43,300万円を含む。

特別会計予算の収支状況(9月末現在・単位:万円)

会計	予算現額	収入済額	支出済額	支出済率(%)
国民健康保険	667,806	248,068	231,961	34.7
老人保健	1,100,953	436,962	448,877	40.8
同和对策資金貸付事業	15,221	9,619	4,863	31.9
食肉センター	2,145	29	738	34.4
下水道事業	518,454	54,314	143,785	27.7
土地取得事業	5,751	1,193	3,497	60.8
駐車場事業	4,987	1,797	1,217	24.4
農業集落排水事業	103,969	1,654	5,800	5.6
特別林野	3,094	1,497	847	27.4
合計	2,422,380	755,133	841,585	34.7

(注) 収入済額が支出済額を下回っているのは、会計間の融通と一時借入れなどにより処理している。

特別会計

特別会計の収支状況は、表のとおりです。

このうち下水道事業会計においては、朝倉、赤妻、矢原、平川、宮野、吉敷、御堀を重

点は整備を進め、仁保地区および名田島地区では、農業集落排水事業の整備が進んでいます。

市有財産現在高

区分	9月末現在高	単位
土地	2,736,725.28	m <sup>2</sup>
建物	286,006.32	m <sup>2</sup>
山林	6,462.39	ha
立木	813,149	m <sup>3</sup>
有価証券	8,360	万円
出資による権利	57,804	万円
	(土地) 3,104.09	m <sup>2</sup>
債権	190,529	万円
基金	883,314	万円
現金	6,488.91	m <sup>2</sup>
土地		

市債現在高(単位:万円)

区分	9月末現在高
一般会計	2,941,827
特別会計	1,670,530
合計	4,612,357

秋の叙勲

山口市から八人が受章

平成六年秋の叙勲に市内から次の方々が受章されました。功勞の分野はそれぞれ違いますが、その道一筋に永年にわたって活躍され、その功績が認められた方々です。

(一) 内は年齢、住所、功勞概要、主要経歴です。(敬称略)

(勲四等旭日小綬章)

齊藤 昇(70・野田・地方自治功勞・元山口県民生部長)

(勲四等瑞宝章)  
大下 忠夫(70・中央四・地方自治功勞・元山口県水産部長)

四・環境衛生功勞・現山口県飲食業環境衛生同業組合理事

長  
(勲七等青色桐葉章)  
吉村 伯(73・吉敷・警察功勞・元山口県警部補)

長

(勲五等瑞宝章)  
藤村 恒彦(70・湯田温泉)

(勲六等单光旭日章)  
榎本 義明(67・宮島町・消防功勞・元山口市消防団副団

長  
(勲七等瑞宝章)  
大枝 茂夫(69・平川・矯正業務功勞・元山口刑務所副看守長)  
田中 貢(61・宮野・防衛業務功勞・元防衛庁技官)  
渡辺 武子(62・鑄銭司・社会福祉功勞・現特別養護老人ホーム「梅光苑」寮母長)

# 人として生きる願いを大切に

十一月十一日～二十日  
県同和対策推進強調旬間

同和対策推進強調旬間にちなんで山口県・山口市で同和問題についての詩・啓発スローガン・ポスター・感想文(小学生は市独自)を募集しましたところ、多数の応募がありました。その作品の一部を紹介します。(敬称略)

## 詩 市特選



鴻南中二年 金澤美穂子

私があなたと話す時  
あなたが誰かと話す時  
どんな言葉で話しますか

いつか 死んだ父に聞かれた

お前の言葉の中で  
人が喜ぶこと  
人が傷つくこと  
どちらが多いか

私は人が喜ぶことだと真っ先に思った  
でも思うだけで答えなかった  
父は言った

もし、お前の言葉の中で  
人が傷つくことの方が多ければ  
お前は必要以上にしゃべるな

## 感想文 市特選

自分の気持ちに

正直になって(要約)

湯田小六年

関野佐悠里



道徳で学習した後、人への接し方について考えました。

服装や顔など外見だけで人の性格をきめつけ、心の中で差別してしまいい人を傷付けてしまった事があります。

その時、周辺の者に同調して差別していた私は本当に恥ずかしいです。差別された本人はたとえ私たちのちよつとした差別も心の中に大きな傷を作ってしまうのです。

私も私の顔があれた時、あだ名で呼ばれた事があります。あだ名で呼んだ人は軽い気持ちで言ったのでしようが、私にとってはその一言は今も心の中に傷となつて残っています。何気ない言葉・態度一つで人の感情は大きく揺れ動くものだという事を知りました。

これからは、常に自分の気持ちに正直で、人に流されず、相手の気持ちを考えて接することができるようにしたいと思います。

## 学校や地域で

市内の各地域、各機関では同和教育が進められています。ここでは小・中学校、高等学校と、同和教育の指定地域での取り組みを紹介します。

### 国際交流活動に取り組む——佐山小学校

佐山小学校では、「自ら 気づき・考え・実践する たくましい子どもの育成——人権尊重の精神を培う教育活動の実践を通して——」という主題で研究に取り組んでいます。学校同和教育の基本的な目標の一つである、連帯感を育てるために、青少年赤十字活動を行っています。

外国から山口市に來られた留学生の人たちとの国際交流活動を積極的に取り入れて、自国の言葉、習慣、食文化、歌や踊りなどを教えてもらったり、一緒に歌ったりして、多くの人々と共に生きるという実感を味わいながら、人と人とのつながりを深めていきたいと考えています。



### 生徒が主役——川西中学校

川西中学校ではこれまで、「生徒が主役」をモットーに生徒一人一人の自主・自立を促す実践をしてきましたが、今年度より「自ら学ぶ意欲を育てる教育課程の編成・実施」という主題を立てて、より「個」に応じた授業・学校生活のあり方についての研究・実践に取り組んでいます。

十人十色、一人一人違って当然です。互いの違いを認め合い、何でも互いに言えることが、「個」が生かされ、互いの人権感覚を高めることにつながります。授業だけでなく宿泊訓練や修学旅行等の行事の中で、生徒一人一人が生き生きと活動する姿を求めてがんばっています。





差別のない地球を  
明るい地球を  
育てよう

スローガン 市特選  
大蔵中二年 中野泰孝

人権をささげるまじくろ思いやり



ポスター 市特選  
湯田中三年 野嶋路子



その時 はじめて分かった  
自分が言っていることの中で  
人が傷つくことが 絶対にないとは  
言い切れないということ  
私があるたと話す時  
あなたが誰かと話す時  
人が喜ぶ言葉で話します  
今 私は父に誓える

人が傷つくことは  
話さないようにするよ  
誰と話していても

大切なこと  
知った今だからこそ――

市入選

小学生の作品

詩

古池知亜希（大蔵小六年）

感想文

長田友見（大蔵小五年）▽藤村雅世  
（大蔵小六年）▽藤本紋芽（二高小五  
年）▽河崎誠（佐山小六年）▽杉山  
満寿（陶小六年）

中学生の作品

詩

伊藤綾（鴻南中三年）▽上ヶ原美樹  
（宮野中三年）▽保手濱彩（二高中三  
年）▽堺谷恵子（二高中二年）▽  
小田村直也（大内中一年）

啓発スローガン

差別をなくす努力こそ未来を変える  
第一歩 藤本淳子（二高中三年）▽  
差別せぬ明るい社会に笑顔の輪 伊  
藤綾（鴻南中三年）▽思いやるぬく  
もり通う町づくり 岡光理恵（湯田  
中二年）▽人権に心を向けよう目を  
向けよう 浜田美代（白石中三年）  
▽断ちきろう過去のくさりつなぎあ  
おう心と心 河村貴行（川西中三年）

ポスター

上岡奈美（平川中三年）▽徳田理恵  
（二高中二年）▽井本敬子（湯上中  
三年）▽海地信恵（湯上中二年）▽  
村谷美和（宮野中二年）

山口市同和教育推進大会

日時 十一月二十五日（金）午後一時三十分  
場所 県教育会館  
講演 山本登先生（大阪市立大学名誉教授）  
「これからの啓発の課題」

多くの皆さんの参加をお待ちしております。

自作教材で授業——西京高校

西京高校では、「豊かな人間性を身につけ、未来の社会に主体的  
に対応できる人間の育成」という教育方針に沿って、すべての教  
職員が、学校教育のあらゆる場において同和教育を推進していま  
す。

特に、その中心となる同和主題のホームルームには、副担任も  
授業に参加するという指導体制で臨んでいます。また、学習活動  
の活性化を図るために、県下初の試みである同和教育ビデオ「ふ  
るさとの歴史」の制作（企画、撮影、編集のすべてを教職員で行  
う）をはじめとして、さまざまな形態の自作教材の開発に積極的  
に取り組んでいます。



地域ぐるみの実践活動——大蔵地区

大蔵地区では、地域や学校、家庭が共に同和問題を学ぶ機会と  
して、毎年、同和教育講演会を開催しています。

今年も十月六日の午後から大蔵小学校で同和教育をテーマとし  
た授業参観の後、児童の作文発表も兼ねて開催しました。

特に今回は、大蔵地区の同和教育推進委員会の方に「私達の生き  
ていく道」と題して講演していただきました。  
自分自身の生い立ちや、家族のこと、そして大蔵地区の現状を  
切々と話され、聴く人が同和問題をより身近なこととして感じる  
ことができた講演でした。

心豊かに共に生きる——大内地区

大内地区は連合自治会をはじめ、幼稚園、保育園、小・中学校  
等の代表者によって構成する「人権学習推進協議会」を母体とし  
て、学習と啓発活動を展開しています。

講師を招いての講義、ビデオの視聴、学校の同和教育の紹介等  
の研修を取り入れて学習を進めています。各団体にも呼びかけ、  
研修に人権学習を組み入れてもらっているところ。年間五回  
の広報紙も発行しています。また今年度末には音楽の演奏をプロ  
グラムに取り入れた推進大会を予定し、目下準備を進めています。  
今年度の同和教育推進地区の指定を契機に人権尊重の風土づく  
りと明るく住みよい地域社会の実現に努めることにしています。





「滝めぐり」で自然とふれあう  
 豊かな自然と清らかな水に接して、環境を守っていくことの大切さを感じてほしいと、十月三十日、「ふるさと自然環境教室(山口市主催)」が行われました。

参加した市内の小学生三十六人は、天花の錦鶏の滝、仁保の犬鳴の滝、小鯖の鳴滝とめぐっていき、透きとおった水の中に魚を見つけて喜んで、初めて見たというクルマミの実を拾ったり、また午後は芋掘りをして、たっぷり自然と親しんだ一日を過ごしました。

### ヒヨドリのお返し?



川合辰男さん(吉敷)の家を毎日のように訪れる一羽のヒヨドリ。

ヒヨドリは体長25cm前後、全身が青灰色で、めったに人にはなつかない鳥です。でも、このヒヨドリは川合さんの手にとまったり肩にとまったり。

「以前、傷ついた鳥を介抱して放してやったことがあるんです。ひょっとしてあのときの鳥でしょうか」と不思議がっておられます。



### 春には菜の花畑に来てください

「県内でも一番広い菜の花畑です」と田園名田島きらめくふるさとづくり実行委員会会長の三輪正明さん。

今年の春は、「第1回菜の花フェスティバル」を開催、また、春休みの間は、お花見や菜の花を自由に採ってもらうなど、菜の花の里・名田島をアピールしました。来春はもっと多くの人に来てもらおうと、11月2日、実行委員会のメンバーが、南総合センター前の約1haの農地に菜の花の種まき。3月には咲き揃い、黄色のじゅうたんが春を彩ります。



### 緑のスタジアムで山口再発見

小春日和の十一月二日、市内の施設をバスで訪れる「動くふるさと教室」を催しました。参加者約八十人で中原中也記念館、ニューメディアプラザ、県庁などを見学。

この度、名称の決定した「山口市スポーツの森」では、広々とした芝生の上で「山口もだんだん変わってきたね」と新しいふるさとに感心されました。

### 寄付・寄贈 ありがとうございました

#### (株)中電工から スポーツ振興基金へ

11月2日、(株)中電工(宮崎敏夫取締役社長)から創業五十周年の記念として、山口市のスポーツ振興のため100万円の寄付をいただきました。▼



#### 西京ライオンズ クラブが 梅を植樹

10月7日、西京ライオンズクラブ(松永勝利会長)の会員や市職員が、香山公園周辺で早朝から清掃奉仕活動。同クラブはきれいになった公園内に梅の木を植樹、来春には白い花が咲きほこりそうです。



#### 山口厚生年金受給者協会から ▲ 在宅福祉介護サービスに 役立ててと

厚生年金受給者協会は、受給者が任意加入する組織です。

山口市と小郡、秋穂町の受給者で組織される山口厚生年金受給者協会(野原清司会長)の協会員3,900人が100円募金をし、11月2日、山口市社会福祉協議会(10万円の寄付)などに寄付されました。



# 募集コーナー

## 助成金交付団体・個人を募集します 山口メセナ倶楽部

山口メセナ倶楽部(82社加盟)では、今年最後の助成金交付希望団体・個人を募集しています。同倶楽部は、新しい固有の文化を創造していくような個人や団体の活動を支援して、地域文化の向上をはかろうと、市内の企業などが設立したものです。

助成の対象は市内を活動の本拠とし、原則として市内で行われる文化活動、事業。営利を目的としたものや、宗教、政治、商業的宣伝意図があるものは対象から外されています。

今年は第1回の助成として、「脱モードと服飾」のテーマで作品の展覧会を開いた山口女子大学衣造形研究会や「一の坂川コンサート」を主催した「山口の自然を考える集い」など9団体に総額約280万円の助成金を交付しています。

助成希望者・団体は11月末までに、山口商工会議所(中市町1-10/☎25-2300)へ

## 第3回児童館特別講座 手づくりねんがじょう

- 日時 11月29日(火)・30日(水)(2日間)、午後3時30分～5時
- 場所 市児童館2階講座室(下堅小路254)
- 対象 小学1年生～3年生
- 募集人員 30人(先着順)
- 会費 100円
- 持参品 鉛筆・消しゴム・はさみ・のり・セロテープ・水性マジック(サインペン)6色・平成7年年賀状2枚
- 申し込み 11月21日～22日の間に市児童館(☎28-8656)へ

## 県民大学講座

### 「古文書入門講座」

- 日時 1月24日～3月7日の毎週火曜日、午後1時30分～4時30分
- 内容 やまと文字とその心、柳井津町「御簡條写」を読む、「大内氏掟書」を読む、「重就公御書付写」を読む、「妙見宮利益助剣」を読む、農商務省の布達達書を読む、「内外新聞」を読む

### 「古文書中級講座」

- 日時 1月20日～3月3日の毎週金曜日、午後1時30分～4時30分
- 内容 捕鯨の記録、「興隆寺文書」を読む、「譜録」を読む、「近世初期政治関係史料」を読む、明治顯官の書、福原家文書など

■場所 県生涯学習センター(県教育会館3階)

■募集人員 各講座とも50人(応募者多数の場合は抽選)

■資料代 2,000円

■申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・希望講座名を記入して12月16日までに県生涯学習センター(大手町2-18/☎23-3325)へ

## 文化バス 平戸を訪ねて

- 日時 12月4日(日)～5日(月)
- コース 市民会館小ホール・小郡駅前(午前7時30分出発)～唐津～平戸(泊)～平戸城ほか～伊万里～市民会館小ホール・小郡駅前(午後7時帰着予定)
- 募集人員 120人(先着順)
- 参加費 大人26,500円、子ども・身障者25,500円
- 講師 内田 伸・郷土史家
- 申し込み 11月18日午前8時から市交通局(知事登録国内旅行業第44号/☎22-2555)へ

## 親子ワークショップ教室

- 日時 11月27日(日)午前9時30分～午後2時30分
- 場所 県婦人教育文化会館・市働く婦人の家(湯田温泉五丁目1-1)
- 対象 小学生とその親(親1人に子ども2人まで)
- 募集人員 親子5組(先着順)
- 内容 簡単なワークショップ操作と年賀状の作成
- 持参品 印刷用はがき・筆記用具
- テキスト・昼食代(2人分)2,060円
- 申し込み 11月25日までに県婦人教育文化会館・市働く婦人の家(☎22-2792)へ

## 第20回山口市家庭婦人 バレーボール大会

- 日時 12月11日(日)開会式:午前8時30分、競技開始:午前9時
  - 場所 県スポーツ文化センター
  - 対象 市内在住の既婚女性と35歳以上(12月10日現在)の独身女性
  - チーム編成 監督・コーチ・マネージャー各1名・選手15名以内
  - 参加料 1チーム1,000円
  - 申し込み 12月5日までに所定の申込書で市体育課(☎22-4111)へ
  - 監督者会議 12月7日(水)午後3時から市役所第8会議室で開催
- ### 緑化教室(マツのせん定)
- 日時 12月3日(土)午後1時～4時
  - 場所 維新公園内野外音楽堂
  - 内容 マツの整枝せん定について・実習(参加無料)
  - 講師 椿 泰秀・日本造園修景協会山口県支部支部長、多々良孝一・市造園協会会長ほか
  - 募集人員 50人(先着順)
  - 申し込み 11月18日～25日の間に県公園協会(☎22-2754)へ
- ※せん定のできる服装で、刈り込みはさみを持参してください。

## 12月の不燃物収集日

1日(木)	嘉川
2日(金)	下金古曾・一本松・木町・新馬場・相物小路・松の木町・銭湯小路・久保小路・湯屋町・上古熊
5日(月)	佐山
6日(火)	陶・鑄銭司
7日(水)	名田島・秋穂二島
8日(木)	米屋町・野田・大殿大路・御局小路・道祖町・上堅小路・大市諸願・田町
9日(金)	大内
12日(月)	西朝倉・西惣太夫・角下市・熊野・元町西・泉町・石観音
13日(火)	今道・大附・中市・今市・堂の前・円政寺・天花・古熊・下堅中下
14日(水)	平川
15日(木)	新橋・西門前・仁保
16日(金)	八幡馬場・東滝・西白石・西糸米・太刀売・天神通り
19日(月)	小鯖
20日(火)	上後河原・(上・中・下)清水・中讃井・中後河原・下後河原・中河原・荒高
21日(水)	三和町・西滝・元町・前町
22日(木)	吉敷
26日(月)	下堅上・東糸米・東白石・新丁・今小路・新天街・新道・新町・早間田・鱈石・竜王町
27日(火)	上・中・下道場門前
28日(水)	宮野
29日(木)	東朝倉・東惣太夫・朝倉中央・上金古曾
30日(金)	大蔵

## 編集後記

▽中原中也記念館ができて、湯田温泉を訪れる人の流れに少し変化が生じているようです。以前は、県内観光や各種大会の宿泊基地として夜間に限定されていた観光客が昼間にも多く見られ、街に活気が感じられます。

▽この秋は、昼夜間の温度差が大きいため美しい紅葉を期待していますが、夏の干天の影響でしょうか、同じ種類の木でも紅葉の時期がズレているようです。これからの秋の深まりとともに、どのように移りかわるか楽しみます。

○日時 11月22日(火)午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士

○問い合わせ 市広報広聴課市民相談室(☎22-41)

書など)を持参してください。

※ご相談に際しては、詳しい書類(登記、契約務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

### 市民無料法律相談

# 健康コーナー

## 乳幼児特別クリニック

- 期日 12月5日(月)
- 受付時間 午後1時~2時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ(予約制)

## 心の健康相談

- 期日 一般精神保健相談 12月1日(木)  
老人精神保健相談 12月8日(木)
- 受付時間 午後1時~2時
- 場所 山口環境保健所
- 申し込み 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ(予約制)

## 心身障害児総合療育相談会

- 日時 12月8日(木)午後1時~4時30分
- 場所 県身体障害者福祉センター(八幡馬場36-1/☎25-2345)
- 相談担当者 小児科・精神科・整形外科の各医師、言語・理学療法の専門家、保健婦、児童判定員など

# 催し物とお知らせ

## 国の教育ローン受付中

- 利用できる方 大学や高校、各種学校などに在学中の子ども、来春入学予定の子どもをお持ちの方
- 融資額 学生・生徒1人につき150万円以内
- 融資利率 年4.4%(平成6年8月現在)
- 使いみち 在学中に必要な資金(学校納付金・下宿代・通学費用など)、入学時に必要な資金(学校納付金・受験費用・教科書代など)
- 返済期間 8年以内、在学期間以内での元金据え置きあり(最長4年)
- 返済方法 毎月元利均等返済(ボーナス併用払いもあり)
- ※くわしくは、国民金融公庫山口支店(☎22-3660)へお問い合わせください。

## がくゆーローン(財形教育融資)

- 利用できる方 大学や高校、各種学校などに在学中、または来春入学予定の子どもをお持ちで、一般財形・財形年金・財形住宅などの各種貯蓄をしている方
- 融資額 財形貯蓄残高の5倍以内で、10万円以上450万円まで
- 融資利率 年5.49%(平成6年9月14日現在)
- 使いみち 在学中に必要な資金(学校納付金・下宿代・通学費用など)、入学時に必要な資金(学校納付金・受験費用・教科書代など)
- 返済期間 8年以内、元金据え置きあり(最長4年)
- 申し込み もよりの「がくゆーローン」取扱金融機関へ
- 問い合わせ 山口雇用促進センター(☎32-1010)へ
- ※国民金融公庫の教育ローンとの併用もできます。

## 観光施設整備資金

- 観光施設の整備を図るため、観光事業を営む中小企業者などに対して、長期資金を貸し付けます。
- 対象 県内で観光事業を営む中小企業者・事業共同組合など
- 対象施設 宿泊施設、交通施設、温泉利用施設、その他観光施設
- 貸付限度額 1億円、または総事業費の80%の、どちらか低い額
- 貸付期間 建物の新築・改築・増築：13年以内、その他の施設：10年以内(どちらも据え置き1年)
- 貸付利率 年3.8%
- 問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)・県商業観光課(☎33-3170)へ

## 加入しませんか 中小企業勤労者共済制度

- 中小企業で働く従業員で、県内に住所または勤務先がある方へお勧めします。
- 月々わずかな掛金(1型450円、2型900円、3型1,500円、高齢者型450円、ファミリー型500円)で、死亡、障害、入院、住宅災害などの事態に対してセットで保障します。また、結婚、出産、銀婚、小・中学校の入学にも給付します。
- 問い合わせ 市勤労福祉共済会(市商工観光課内☎22-4111)へ

## 退職金づくりは中退金で

中小企業で退職金制度を設けたい場合は、安全・確実・有利な国の中退金制度の利用をおすすめします。

そのうえ、新しくこの中退金制度に加入した企業には、掛金の1部を国が2年間助成します。

- 問い合わせ 県労政課(☎33-3215)へ

## 国民健康保険料・国民年金保険料 納付額証明書を郵送します

国民健康保険料・国民年金保険料の納付額証明書を11月中旬に郵送します。確定申告、年末調整などに活用してください。

- 問い合わせ 国民健康保険料：市収納課  
国民年金保険料：市保険年金課(☎22-4111)へ

## 家事家計講習会

期日	場所	問い合わせ先
11月15日	県児童センター	大隅督子 24-7475
11月18日	小郡ふれあいセンター	高木康子 08397-2-1503
11月22日	山口ふるさと伝承総合センター	井口美智子 24-1632

- 時間 午前10時~11時30分
- 内容 見えてきた私の家計・家計簿をつけてみましょうなど
- 託児 予約が必要(150円)
- ※会員券が必要です。(1回300円、当日券あり)

## 40歳からの自己啓発を応援します 中高年齢労働者等受講奨励金

中高年齢労働者等受講奨励金は、中高年齢労働者の自己啓発活動を奨励するために、援助を行う制度です。

雇用促進事業団では、雇用保険の被保険者で40歳以上の方が、自分で入学科、受講料を負担して、労働大臣の指定する講座を受講し終了した場合、その支払った入学科、受講料の2分の1(限度額10万円)を助成しています。

労働大臣が指定した講座は、社会保険労務士、宅地建物取引主任者、衛生管理者・危険物取扱者・公害防止管理者など通信制・通学制あわせて812コースがあります。

- ※問い合わせ 雇用促進事業団山口雇用促進センター(☎32-1010)へ

## 国民健康保険被保険者証の更新があります

現在使われています国民健康保険被保険者証・退職被保険者証は、平成六年十一月三十日で有効期限が切れます。これにともない、次のとおり被保険者証の更新を行います。

- 更新の時期 平成六年十一月十四日~三十日

- 新しい被保険者証の色 一般：あさき色

- 更新の方法 退職：はだ色

・納付組織(国保推進員制度を含む)に加入している人は、世話人を通じてお届けします。その際に旧被保険者証を返してください。

・納付組織に加入していない人は、原則として被保険者証を郵送します。旧被保険者証は、市保険年金課またはもよりの出張所へ返してください。

※福祉施設入所などにより遠隔地被保険者証が必要な人は、市保険年金課またはもよりの出張所へ申請してください。

- 問い合わせ 市保険年金課(☎22-4111)へ